



秩父病院だより



日光キスゲ

総合医（地域に求められるお医者さん）

院長 花輪峰夫



近年の医学の進歩は著しく、あらゆる分野で医療はより広く、より深く、その

ポリニームを拡大し続けています。そんな中であつて、必然的に医療はより細分化し、より特化した知識と技術を備えた専門医が重要視されてきました。しかしながら一方で、より広い領域に対処できる総合医の必要性も叫ばれています。特に各科の専門医が十分にそろっていない地域医療の現場では、その重要性が再認識されてきています。これはあまりにも偏った診療や縦割り診療への反省ともいえます。

国の医学教育においても、「新臨床研修医制度」にみられるように、まず初期研修医として、医師としての基本（総合的能力）を身に付け、その後、専門科に進むことが義務付けられました。最近では、テレビ番組でも「総合診療科」あるいは「ジェネラルドクター」が取り上げられ、注目されています。しかし一言に「総合医」といっても、様々な医師像が考えられます。現在、学会でも概念や定義は混乱状態であります。多くの大学で総合診療科を標榜していますが、未だそのアイデンティティーは確立されていません。

さて、改めて地域医療に求められる「お医者さん像」について考えてみました。私は、近年の医学教育で育成されてきた「専門医」は、地域医療の現場には適さず、総合医こそ必要と考えています。ただ、私の思い描く「総合医」とは、決して専門性のない医者のことではありません。当然、専門分野を持ち、できれば複数の学会専門医の取得も必要でありましょう。そのうえで、科別、臓器別、あるいは慢性期、急性期にとらわれず、できる限り「広く深く」、あくまで総合的、継続的、全人的な医療ができる医師であります。単に初期診療や選別を行う医師でもなく、いわゆる「プライマリケア医」や「家庭医」とも少し違います。

その他の条件として、自己の能力を見極め、必要に応じて他医への紹介等、謙虚な協調性や柔軟な調整力が求められます。地域の医療体制の現状を知り、その中で自己の役割を認識することも必要でしょう。いわゆる「専門バカ」でないことが重要です。そんな医師は不可能と思われるかもしれませんが、何もスーパーマンを目指すわけではありません。興味と探究心が自ずとその領域を決めていくことでしょう。

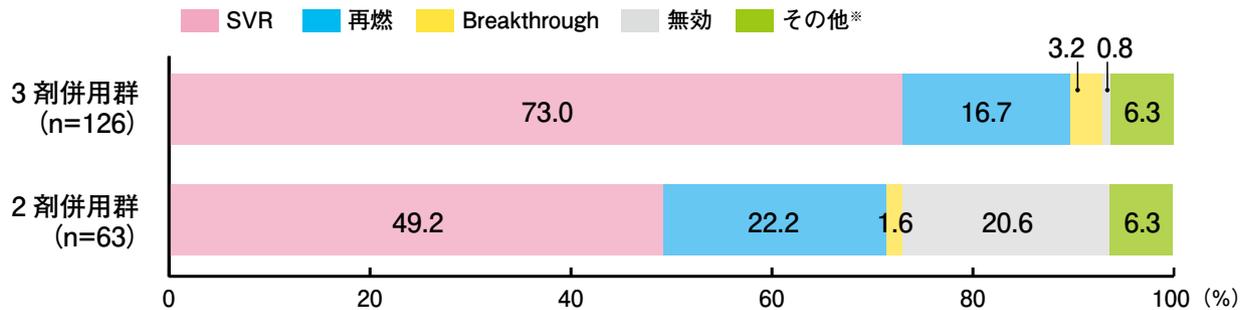
医師という職業は、一生をかけてやるものです。自己を磨く時間は、スポーツ選手と比べれば十分すぎるほどあるように思います。以上のことは、とりもなおさず患者さんが求めている、いわゆる「お医者さん」の姿であり、私にとって反省と自戒を込めた「医者像」でもあります。今後、こんな思いを、若い医師たちに少しでも伝えていくことが、私の仕事のひとつと思っています。

C型慢性肝炎 最新治療

テラプレビル(プロテアーゼ阻害剤) 3剤併用療法

欧米と日本で同時に平成23年末から、C型慢性肝炎に対する次世代の治療が始まりました。当院でも平成24年4月より治療を開始し、最新治療が可能となりました。

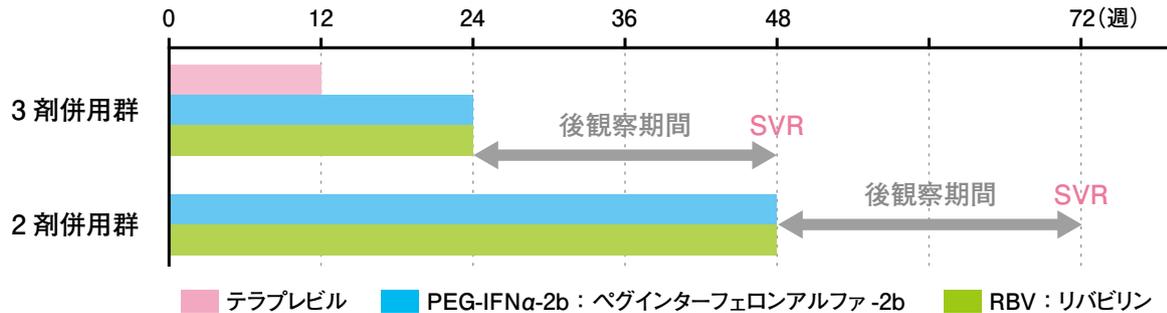
● SVR、再燃、Breakthrough、無効、その他*の割合



C型慢性肝炎の患者様の中でもウイルスの型や、その量で治療の効果は変わります。

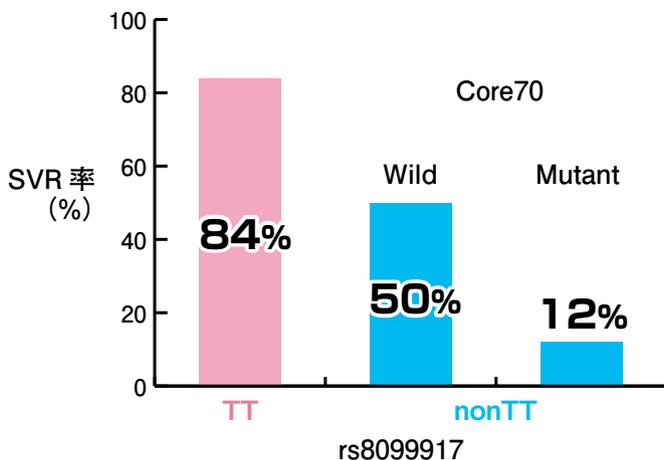
特に1型でウイルス量の多い方はウイルスを駆除できる可能性が低く、従来の2剤併用群(ペグインターフェロン+リバビリン)では49.2%でした。最新の3剤併用群(テラプレビル+ペグインターフェロン+リバビリン)では73.0%と高率になっております。

● 投与スケジュール



投与期間も2剤併用群では48～72週であったのが、3剤併用群ではほとんどの場合24週と、大幅に短縮します。

● Telaprevir併用療法の効果とIL28B SNPs



この3剤併用療法は治療効果が非常に高く、1型でウイルス量の多い場合の第一選択となっておりますが、副作用に注意しなければならないことがいくつかあります。特に貧血や皮膚障害、食欲低下、尿酸値上昇などは注意が必要となります。

もちろん治療導入時、入院も可能です。

また事前に遺伝子検査(IL-28B, Core70)をすることにより、ある程度治りやすいかどうかの判断も当院では可能です。

連携医院のご紹介

* 横田内科・呼吸器科クリニック *

院長 横田幸弘先生

当院は2002年11月に小鹿野町に開院いたしました。理念を「We deliver the best.」とし、その時点での患者さんにとってベストなこと(専門医への紹介など)をしようと考えました。また、いくつかの目標を決め、地域医療の一端を担ってまいりました。

呼吸器疾患に力を入れていますが、感染症など比較的急性期疾患の方が多いので、何となくあわただしく診療しているうちに早や10年が過ぎようとしております。その間、秩父病院の皆様には、入院治療、精密検査などで、知人や親族を含め多くの患者さんを親切に診療していただき有難うございます。特に消化器疾患でお世話になっている事が多いように感じます。

また、秩父病院には休日当番や小児救急で勤務

した際には親切にしてください、また、スタッフの方が忙しく働いているのを拝見するにつけ、そのご苦労に感謝しております。

今後ともよろしく願いいたします。



プチメール✉ 埼玉県より表彰を受けました

当院は新病院建設にあたり、埼玉県の条例「ふるさと埼玉の緑を育てる条例第26条」に基づき緑化計画、整備に取り組んでまいりました。

今回、埼玉県より緑の配置や維持管理状況等が他の施設の模範になるとの事で、「第4回彩の国みどりのプラン賞」を受賞いたしました。この事は環境整備に取り組む職員の努力の成果であり、今後とも患者さんをはじめ、近隣の方々の心を癒すような環境づくりに職員一同、努力してまいります。



医療法人花仁会



秩父病院

〒369-1874 埼玉県秩父市和泉町20番

TEL. 0494-22-3022 (代表) FAX.0494-24-9633

ホームページ: <http://www.chichibu-med.jp> Eメール: info@chichibu-med.jp

診療科目 外科・内科・消化器外科・消化器内科・肛門外科・循環器内科
麻酔科・放射線科・肝臓内科・整形外科・形成外科・歯科
人間ドック

一般健診: 随時受け付けております。お申し込み電話番号(0494-22-3023)

受付時間 午前8:30~11:30/午後12:30~5:30

診療時間 午前9:00~12:00/午後 3:00~6:00 **休診日** 日曜・祝祭日

はそ もり

<秩父病院分院> 柞の杜クリニック

〒368-0046 埼玉県秩父市宮側町16-12

TEL. 0494-21-2352 FAX.0494-22-6132

診療科目 外科・内科・総合診療科

受付時間 午前8:30~11:30

診療時間 午前9:00~12:00(当面平日月・水・金曜午前のみ診療)

